

第三期特定健康診査等実施計画

日本ハム健康保険組合

最終更新日：平成 30 年 01 月 22 日

特定健康診査等実施計画（平成30年度～平成35年度）

背景・現状・基本的な考え方		
No.1	被扶養者の特定健診受診率が低い。 特定保健指導の実績が極めて低い。 特定健診項目で改善傾向が示されない。 生活習慣では、特に運動習慣のない者の割合が高い。	➔ 被扶養者向けレディース巡回健診の取組を積極化する。 特定保健指導全額負担試行を継続し定着化を図る。 特定保健指導の実績向上に向けたコラボ検討。 ウォーキング等運動習慣を促進する事業を推進のためのコラボ検討。
No.2	55歳からの医療費が急増する。 歯科の医療費が最も多い。	➔ 生活習慣病予防を中心に据える。 口腔内ケアについても追加策を検討する。
No.3	循環器系疾患、精神・行動障害疾患の医療費の伸び率が高い。 個人別医療費が多い階層は40歳以上の中高年と幼児である。 20代～30歳代で医療費が高額化するものは、新生物、精神・行動障害である。 傷病手当金の原因となった疾病は精神・行動障害の割合が断然高い。	➔ 生活習慣病予防、メンタルヘルス不全予防が特に重要。 育児支援情報の維持。
No.4	最も医療費の支出が多い疾病は、高血圧である。続いて喘息、鼻アレルギー。 季節性がはっきり示されているのは、鼻アレルギーである。	➔ 季節性を考慮した症状緩和の予防策を検討する。
No.5	健診後、放置している人がいる。 精神疾患有病者は、20歳代、30歳代の女性本人。 40歳代の男性本人、女性家族の割合が高い。 後発医薬品の使用割合は右肩上がり増加している。	➔ 定期検診の効果を高めるため重症化予防のコラボを検討する。 家族も含めてメンタルヘルスカウンセリングの利用を促進する。 現状の施策を継続する。

基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診受診率の目標値達成。 ・ 特定保健指導利用率の目標値達成。 <p>第2期までの特定健診等計画期間では、被保険者の受診率は目標値を上回るが、被扶養者の受診率は健保平均にも届かない状況にある。しかしながら第2期において実施した、レディース健診によって受診率は年々上昇してきている。</p> <p>今期は、被保険者・被扶養者共に目標値を達成し、健保全体の目標値達成を目指したい。</p> <p>また、特定保健指導利用率は低迷している。対象者から辞退が続出しており、勧奨の仕方、内容の見直しなど課題である。</p> <p>事業主とのコラボも含めて、取組に工夫を加え、目標達成に向け取り組んでいきたい。</p>

特定健診・特定保健指導の事業計画

1 事業名	コラボヘルス推進	対応する健康課題番号	No.5																																									
↓																																												
事業の概要 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">対象</td> <td>対象事業所：一部の事業所、性別：男女、年齢：～（上限なし）、対象者分類：被保険者</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>健保・事業主間でのコラボヘルス。 事業主以外の労働組合、地域、他の健保とのコラボヘルス。</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>健康管理事業推進委員会を中心に協議を進め、実務的には、健保、事業主、健康管理室担当で協力して推進する。</td> </tr> </table>		対象	対象事業所：一部の事業所、性別：男女、年齢：～（上限なし）、対象者分類：被保険者	方法	健保・事業主間でのコラボヘルス。 事業主以外の労働組合、地域、他の健保とのコラボヘルス。	体制	健康管理事業推進委員会を中心に協議を進め、実務的には、健保、事業主、健康管理室担当で協力して推進する。	事業目標 <p>コラボヘルスを推進し、加入者の健康づくりに貢献し、最終的には医療費の削減を達成する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> <th>H33年度</th> <th>H34年度</th> <th>H35年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトカム指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center;">（アウトカムは設定されていません）</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コラボヘルス</td> <td>1件</td> <td>-件</td> <td>-件</td> <td>-件</td> <td>-件</td> <td>-件</td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	アウトカム指標							（アウトカムは設定されていません）							アウトプット指標							コラボヘルス	1件	-件	-件	-件	-件	-件
対象	対象事業所：一部の事業所、性別：男女、年齢：～（上限なし）、対象者分類：被保険者																																											
方法	健保・事業主間でのコラボヘルス。 事業主以外の労働組合、地域、他の健保とのコラボヘルス。																																											
体制	健康管理事業推進委員会を中心に協議を進め、実務的には、健保、事業主、健康管理室担当で協力して推進する。																																											
評価指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度																																						
アウトカム指標																																												
（アウトカムは設定されていません）																																												
アウトプット指標																																												
コラボヘルス	1件	-件	-件	-件	-件	-件																																						
実施計画 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 覚書の周知。・ 特定保健指導勧奨事業・事業主による特定保健指導実施体制構築・重症化予防対策スキーム検討</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <th>H33年度</th> <th>H34年度</th> <th>H35年度</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				H30年度	H31年度	H32年度	・ 覚書の周知。・ 特定保健指導勧奨事業・事業主による特定保健指導実施体制構築・重症化予防対策スキーム検討	-	-	H33年度	H34年度	H35年度	-	-	-																													
H30年度	H31年度	H32年度																																										
・ 覚書の周知。・ 特定保健指導勧奨事業・事業主による特定保健指導実施体制構築・重症化予防対策スキーム検討	-	-																																										
H33年度	H34年度	H35年度																																										
-	-	-																																										

2 事業名 特定健診（被保険者）

対応する
健康課題番号 No.1

事業の概要		事業目標							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者	特定健診受診率を100%に近づける。							
方法	事業主の定期健診内で実施。費用負担は健保。健診機関からXMLデータを入手し健保が保管。	評価指標	アウトカム指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
体制	事業主が委託した健診機関。事業主健康管理室。保健事業担当者。		生活習慣病予備群の把握	261人	-人	-人	-人	-人	-人
			アウトプット指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			受診率	95%	-%	-%	-%	-%	-%

実施計画		
H30年度	H31年度	H32年度
受診率95%費用計上は各種健診費用補助金に含める。	-	-
H33年度	H34年度	H35年度
-	-	-

3 事業名 特定健診（被扶養者）

対応する
健康課題番号 No.1

事業の概要		事業目標							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者/基準該当者	-							
方法	1. 被扶養者及び任意継続者が対象。 2. 被扶養者女性を対象に「巡回レディース健診」。健保連集合契約締結。 3. 補助金。年初に、補助金申請用紙を対象者全員に送付。	評価指標	アウトカム指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
体制	全国健康増進協議会が運営する「巡回レディース健診」の項目に特定健診項目を含む。 案内を自宅送付。随時、未申込者に勧奨葉書送付。		家族療養費	100%	-%	-%	-%	-%	-%
			アウトプット指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			受診率	45%	-%	-%	-%	-%	-%

実施計画		
H30年度	H31年度	H32年度
受診率45%	-	-
H33年度	H34年度	H35年度
-	-	-

4 事業名 特定保健指導

対応する
健康課題番号 No.1

事業の概要		事業目標							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：38～74、対象者分類：加入者全員/基準該当者	-							
方法	・健保で階層化を行い対象者を抽出し、意思を確認。 ・指導機関を指定し利用券を発行。 ・全額補助。	評価指標	アウトカム指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
体制	保健事業担当者。 コラボヘルスで、利用者がえるよう体制を整える。		法定給付費	100%	-%	-%	-%	-%	-%
			アウトプット指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			実施率	10%	-%	-%	-%	-%	-%

実施計画		
H30年度	H31年度	H32年度
10%	-	-
H33年度	H34年度	H35年度
-	-	-

5 事業名

レディース健診

対応する
健康課題番号

No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：女性、年齢：30～74、対象者分類：被扶養者/基準該当者
方法	全国健康増進協会「巡回レディース健診」を利用。
体制	保健事業担当者。 外部委託。

事業目標

被扶養者の特定健診受診率の低迷を解消することを第一目標。
受診機会の少ないことを鑑み主要な健診項目が網羅されるよう設定。

評価指標	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
アウトカム指標						
被扶養者特定健診受診率	45%	-%	-%	-%	-%	-%
アウトプット指標						
受診率	24.7%	-%	-%	-%	-%	-%

実施計画

H30年度	H31年度	H32年度
前年実績を下回らない。	-	-
H33年度	H34年度	H35年度
-	-	-

特定健康診査・特定保健指導								
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	2,024 / 2,530 = 80.0 %	2,075 / 2,530 = 82.0 %	2,125 / 2,530 = 84.0 %	2,176 / 2,530 = 86.0 %	2,226 / 2,530 = 88.0 %	2,277 / 2,530 = 90.0 %
		被保険者	1,682 / 1,770 = 95.0 %	1,682 / 1,770 = 95.0 %	1,682 / 1,770 = 95.0 %	1,682 / 1,770 = 95.0 %	1,682 / 1,770 = 95.0 %	1,682 / 1,770 = 95.0 %
		被扶養者	342 / 760 = 45.0 %	393 / 760 = 51.7 %	443 / 760 = 58.3 %	494 / 760 = 65.0 %	544 / 760 = 71.6 %	595 / 760 = 78.3 %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	61 / 607 = 10.0 %	93 / 623 = 14.9 %	159 / 638 = 24.9 %	228 / 653 = 34.9 %	301 / 668 = 45.1 %	376 / 683 = 55.1 %
		動機付け支援	24 / 243 = 9.9 %	37 / 249 = 14.9 %	64 / 255 = 25.1 %	91 / 261 = 34.9 %	120 / 267 = 44.9 %	150 / 273 = 54.9 %
		積極的支援	37 / 364 = 10.2 %	56 / 374 = 15.0 %	95 / 383 = 24.8 %	137 / 392 = 34.9 %	181 / 401 = 45.1 %	226 / 410 = 55.1 %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数） / （対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数） / （対象者数）

個人情報の保護

当健保は、日本ハム健康保険組合個人情報保護管理規程を遵守します。
 当健保組合及び委託された健診、保険指導機関は、業務によって知りえた情報を外部に漏らすことはありません。
 当健保組合のデータ管理者は、常務理事とします。また、データの利用者は当健保職員及び事業主健康管理室医師及び看護師に限るものとします。
 アウトソーシングやコラボヘルスする場合は、データの利用範囲・利用者等を契約書に明記します。

特定健康診査等実施計画の公表・周知

本計画は、ホームページに公表し周知します。

その他

当計画は、健康管理事業推進委員会、組合会等に進捗を報告し定期的に見直し等を行います。